



Vol. 6
おいしそうな おはなし

こんにちは 絵本



— 3才頃から —



一宮市立子ども文化広場図書館

おばけのケーキ屋さん



SAKAE 絵・文
マイクロマガジン社 2013年

世界一おいしいケーキを作り、みんなをビックリさせるのが大好きなおばけと「おいしいけどノピパの作るケーキとおなじくらいかな」という女の子の、やさしくて温かくて、そして切ないお話です。



おだんごスープ



角野栄子 文／市川里美 絵
偕成社 1997年

ひとりぼっちになったおじいさん。ある日おばあさんのスープがのみたくなりました。おばあさんが口ずさんでいた「スープの歌」を少しずつ思い出しながら作っていくと…。お話も絵もとっても素敵。



まほうのでんしレンジ

たかおかまりこ 原案
さいとうしのぶ 作・絵
ひかりのくに 2013年

ぼくの家が届いたふしぎなでんしレンジ。パピが空っぽのお皿をいれて「はらぺこりんりん、はらぺこりんりん」と食べたいものを歌うと、「わあ〜、おいそう!」。君なら何を"チン"する?



ひみつのカレーライス

井上荒野 作／田中清代 絵
アリス館 2009年

カレーが大好きなフミオ家がカレーライスを食べていたら「かりっ」。フミオの口の中から小さな黒いつぶが。それは世にもめずらしいカレーの種でした。おとうさんがその種を庭にうめるとやがて…。

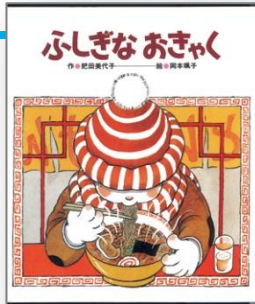


※出版年は、日本での初版出版年です。

ふしぎなおきゃく 第2版

肥田美代子 作／岡本颯子 絵
ひさかたチャイルド 2006年

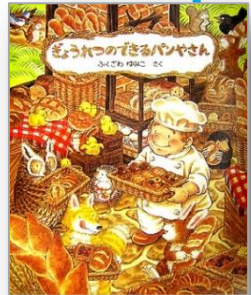
「とんちんけん」はラーメンのおいしいお店。でも、ある日やってきたお客は一口だけ食べて帰ってしまいました。次の日もその次の日も同じように。不思議に思ったけんさんは、そのお客を追いかけます。



ぎょうれつのできるパン屋さん

ふくざわゆみこ さく
教育画劇 2007年

ぐうぐう山にふっくらおじさんのパン屋さんが開店しました。でも、山奥なのでお客さんはひとりもきません。そのうち森の動物たちにパンは大人気になり、そして…。一冊まるごとおいしそう！



ベルとブウおいしい いちにち

マンディ・サトクリフ さく
ひがしかずこ やく
岩崎書店 2014年



やさしい女の子ベルとうさぎの子ブウはいつもいっしょ。朝ごはんの時間、クッキーとケーキが食べたいブウは おかゆもトーストも嫌だといいます。そこでベルはすてきな提案をします。

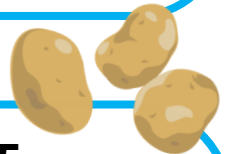


おべんとう

小西英子 さく
福音館書店 2012年



さあ、おべんとうを作りましょう。おべんとう箱を用意して、一番はじめは炊き立てのほかほかごはん。次はなに？あつあつのミートボールとふんわりたまご焼き。それから、それから。



せかいいち おいしいスープ

マーシャ・ブラウン 文・絵
こみやゆう 訳
岩波書店 2010年

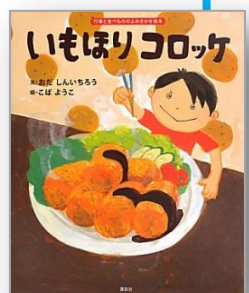


はらぺこの3人のへいたい、ある村で 食べ物をわけてほしいとたのみました。しかし誰一人わけてくれません。そこでへいたい達は「石のスープ」を作ろうとします。えっ！いったいどんなスープ？

いもほり コロッケ

おだしんいちろう 文／こばようこ 絵
講談社 2013年

じゃがいもほりに出かけたまさおくんは、やっとなのおもいで大っきなじゃがいもをほり当てました。そのじゃがいもでお母さんと妹の三人で、コロッケ作りを始めます。元気いっぱい絵本です。





～ まだまだ紹介します ～



『きょうのごはん』

加藤休三 作（偕成社）

『パパがやいたアップルパイ』

ローレン・トンブソン 文

ジョナサン・ビーン 絵

谷川俊太郎 訳（ほるぷ出版）

『ぶたのほかほかパンやさん』

正岡慧子 文

神山ますみ 絵（PHP研究所）

『おなべおなべにえたかな？』

こいでやすこ さく（福音館書店）



『ケーキがやけたら、ね』

ヘレン・オクセンバリー さく

せなあいこ やく（評論社）

『おおかみのチキンシチュー』

カザ敬子 文・絵（西村書店）

『ぎょうざのひ』

かとうまふみ 作・絵（偕成社）



子どもと一緒に絵本を広げている時間は、子どもだけでなく、読んでいる人もあたたかい幸せな気持ちを感じることができます。「これ食べたいね」「これおいしそう！」とお話ししながら、絵本を通して親子のコミュニケーションを満喫してください。

